

千本ゑんま堂 引接寺 いんじょうじ
千本ゑんま堂大念佛狂言保存会

入 場 無 料

千本 ゑんま堂狂言

五月本公演

今年もやってきました
千本ゑんま堂大念佛狂言本公演の季節
例年通り楽しい演目が目白押し
魅せます、笑わせます！
ぜひ皆様お誘い合わせの上
ご高覧たまわりますよう
お願いいたします。

◆ 公 演 日 程 ◆

5月1日 ●夜の部 7時～

5月2日 ●夜の部 7時～

5月3日 ●昼の部 1時～

●夜の部 6時～

5月4日 ●昼の部 1時～

●夜の部 6時～

(最終演目：千人切)



〒602-8307
京都市上京区千本通鞍馬口下ルえんま前町 34
TEL. 075 (462) 3332

千本ゑんま堂 引接寺 いんじょうじ

詳細は千本ゑんま堂狂言保存会HPで http://www.geocities.jp/e_kyogen/

千本ゑんま堂大念佛狂言平成三十年番組表

5月1日(火)

夜の部 午後7時より

- | | |
|----------------------|-----|
| ①えんま庁 (Emma-cho) | 20分 |
| ②二人大名 (Ninin Daimyo) | 35分 |
| ③福釣り (Fukutsuri) | 30分 |
| ④鞠猿 (Utsubo Zaru) | 35分 |

5月2日(水)

夜の部 午後7時より

- | | |
|--------------------|-----|
| ①芋汁 (Imojiru) | 30分 |
| ②悪太郎 (Akutaro) | 30分 |
| ③寺ゆずり (Terayuzuri) | 30分 |
| ④土蜘蛛 (Tsuchigumo) | 25分 |

5月3日(祝)

昼の部 I 午後1時より

千本ゑんま堂創建一千年記念
千本六斎会特別奉納

昼の部 II 午後3時より

- | | |
|--------------------------|-----|
| ①舌切雀 (Shita-kiri Suzume) | 25分 |
| ②にせ地蔵 (Nise-jizo) | 35分 |
| ③いろは (Iroha) | 15分 |
| ④船弁慶 (Funa-Benkei) | 25分 |

夜の部 午後6時より

- | | |
|-------------------------|-----|
| ①鬼の念佛 (Oni no Nembutsu) | 25分 |
| ②雷 (Kaminari) | 20分 |
| ③でんでん虫 (Dendenmushi) | 30分 |
| ④伯母ヶ酒 (Oba ga Sake) | 25分 |
| ⑤末廣 (Suehiro) | 40分 |

5月4日(祝)

昼の部 午後1時より

- | | |
|-----------------------|-----|
| ①えんま庁 (Emma-cho) | 20分 |
| ②与平狐 (Yohei Gitsune) | 30分 |
| ③いろは (Iroha) | 15分 |
| ④二人大名 (Ninin Daimyo) | 35分 |
| ⑤紅葉狩り (Momiji-gari) | 30分 |
| ⑥花盗人 (Hananusubito) | 30分 |
| ⑦ほうらく割 (Houraku Wari) | 30分 |

夜の部 午後6時より

- | | |
|-------------------------|-----|
| ①道成寺 (Dojoji) | 60分 |
| ②牡丹獅子 (Botanjishi) | 20分 |
| ③神崎渡し (Kanzaki Watashi) | 30分 |
| ④千人切り (Sennin-giri) | --- |

* 上演時間はおよその目安です。なお、都合により演目を変更することがあります。

重要無形民俗文化財「京都の六斎念仏」と千本六斎会について

「千本六斎会」は、京都西陣「千本ゑんま堂」界限に伝わる「京都の六斎念仏」を伝承する「空也堂系芸能六斎」で、重要無形民俗文化財の指定を受けている保存団体の一つです。

「京都の六斎念仏」の起源は、平安時代「空也上人」が始めた「空也踊躍（ゆうやく）念仏」であると一般的にいわれております。が、いろいろな説があり、道空上人が広めたと伝えられる干菜寺（ほしなでら）通称 系六斎念仏を伝承されている保存会もあります。

「六斎念仏」と称される由来は、月のうち六日ある斎日に、市中各所で念仏を唱えたことからといわれております。その後、六斎日を離れ、今では「京都の六斎念仏」の多くは八月の行事となつていますが（一部は春、秋、年末に）「六斎念仏」の呼称はそのまま残りました。

「千本六斎会」も、毎年八月に、十一・十三日の「勧善廻り」精霊迎え棚経」と、十四日の「千本ゑんま堂での盂蘭盆奉納」を、公開行事として執り行っております。

一方「京都の六斎念仏」の形態は、念仏踊を中心にした宗教的演目がほとんどの「念仏六斎」と音曲・演技を取入れた芸能を主体とする「芸能六斎」の二つに分類されます。（当会は芸能系）

「京都の六斎念仏」の継承保存団体は、現在、京都市内に十数組あり、昭和五十八年一月に系列・形態の枠を超えて全団体が国から『重要無形民俗文化財』の指定を受けております。

芸能六斎の芸は、江戸時代の中頃、京の町で広まっていた長唄・能・狂言・歌舞伎・神楽・祭囃子など各種芸能の特徴を取り入れ、笛・太鼓の曲や演技が六斎念仏用に創案されました。

さらに風流化が進み、原曲と離れた六斎念仏独自の芸能に発展し、「祇園囃子の太鼓踊り」や「獅子舞の碁盤乗り」と土蜘蛛」などは芸能六斎の代表的演目になっております。

「千本六斎会」の演目は、伝統の中に新しいものを取り入れていく西陣という土地柄を反映し、テンポの速い華やかな芸が持ち味で、娯楽色の強いことが特徴です。中でも、祇園囃子に取り入れた「すずめ踊り」や、独特の容姿でリズムカルに跳ね踊る獅子舞と、西陣織金襴の衣装が艶やかな「蜘蛛の精」が獅子と大きく立ち回る様は、千本六斎風といわれております。

「千本六斎会」では、会員（後継者）を募集中です。先人が伝えてきた西陣風の六斎念仏を伝承するため、是非、ご入会ください。募集要項は、ホームページをご覧ください。

西陣 千本六斎会

奉納予定演目

- 一、発願念仏唱和・打ち出し
- 二、豆太鼓・四曲（浪花、道成寺、素雅楽、碓）
- 三、四ツ太鼓（一人打ち・相打ちなど） 狂言共演
- 四、祇園囃子「入れ事」（雀踊り）
- （中入）
- 五、豆太鼓・二曲（山姥、法縁祭）
- 六、手踊り（願人坊）
- 七、太鼓踊り（堀川猿回し） 狂言共演
- 引抜き手踊り（さらし）
- 八、獅子と蜘蛛（獅子太鼓、獅子舞、狂言共演、碁盤乗り、蜘蛛の精、攻め太鼓）
- 九、阿弥陀打ち（結願念仏唱和）

平成三十年五月三日

重要無形民俗文化財 西陣 千本の斎会 会員募集

千本六斎会が伝承する「京都の六斎念仏」の後継者を募集

- * 年令、性別、住所は問いません
- * 会費不要、だれでも入れます
- * 8月の行事に参加が条件です
- * 練習は通常 毎月 第2・4土曜日 夜

紹介ホームページ <http://rokusai.jp.org/>



演目の紹介

一 発願念仏

打ち出し

導師の発声で発願声明を唱和、続いて「南無阿弥陀仏」と念仏を唱和し、豆太鼓の先導で太鼓打ちを始めます。

二 豆太鼓

なにわ

道成寺

素雅楽

砧

いずれも歌舞伎から題材を得たと考えられています。かつては、ゆつたりとした曲調だったと聞いていますが、現在は早く軽やかに演じられます。千本六齋が、西陣の土地柄を反映し、変化してきた為と考えられます。最後の「砧」では、1つのリズムに聞こえる曲を、二人で打ち分ける軽妙な技が聞きどころです。

三 四ツ太鼓

六齋念仏で最も基本となる太鼓の演目です。取手の付いた巴太鼓4個を木枠に据え置き、笛の音に合わせて打ち分けます。

片手で打つ「一丁ブチ」から始まり、途中から両手で打つ「二丁ブチ」になり、打ち方が変化します。2人が向かい合って同時に打ち合う「相打ち」や、間を空けずに打ち続ける「ドロドロ打ち」、二丁ブチを数人で連続して打ち続ける「三ノ繰り」など、多彩な打ち分けをご覧頂けます。本日、狂言の演目「芋汁」を取り入れた「二ノ繰り」を、狂言保存会の演者が演じます。

四 祇園囃子

打ち出し

祇園囃子の始まりを告げる太鼓です。4人の奏者が巴太鼓を手に「そうりゃ」の掛け声と共に踊り、打ち始めます。

流し

鉦のリズムが「チキチン、チキチン」と一定になったところで、4人の巴太鼓がウラとオモテに別れて相打ちを始めます。

すずめ踊り

千本六齋会にのみ伝わる演目で、江戸時代の風流踊りであつたすずめ踊りが、祇園囃子に取り入れられています。

太鼓、鉦、笛が、流しの時とは違うタイミングで重なり、緊張感高まる演奏となります。

五 豆太鼓

山姥

京都の六齋念仏の中でも唯一、笛の独奏を含む演目です。笛の独奏で始まり、静かな余韻が印象的な前半。後半には太鼓が加わり、対照的にテンポの速い曲に変わります。

豆太鼓の振り(踊り)が軽妙な演目です。ウラの太鼓がなかなか揃わない、難しい曲です。

六 手踊・願人坊

法縁祭

清元の「うかれ坊主」を題材にした演目です。銭錫杖を手に舞う2人の願人坊主は、とてもコミカルで、芸達者な演じ手のみに許さる、難しい演目でもあります。

七 豆太鼓

堀川猿回し

浄瑠璃「堀川の段」を脚色した演目です。現在の振り付けは、大人も子供も同じ内容ですが、以前は子供が猿の着ぐるみで、大人は大道芸の猿引きの格好で演じておりました。

本日は、狂言の「うつば猿」の演者他が登場し、共演します。

引拔手踊・さらし

堀川猿回しに続けて、女性二名で舞う「さらし踊り」です。女性の入会に伴い考案された千本

六齋会独自の演目です。平成十七年に現在の姿に再構成されました。

加茂川の河原で行なわれていた、友禅洗いのさらしを曲で表したと伝えられています。

八 獅子舞

獅子太鼓

蝶々

千本六齋会の獅子舞は、巴太鼓4人による相打ちに始まり、獅子を呼び出します。本日は、狂言保存会の獅子も登場し、2頭の獅子の共演を行います。牡丹に寄つて来た二匹の蝶が、寝ている獅子をからかいます。

千本六齋の獅子舞で最大の見所。3段に積まれた碁盤の上で、曲芸を演じます。

獅子が、猫のような仕草で毛繕いを始めます。とても可愛らしい演目です。

曲調が一変し、蜘蛛の精が現れます。休んでいる獅子と鉢合わせ、戦いが始まります。蜘蛛の

精は、糸を吐き獅子を苦しめますが、やがて退散します。

戦いに疲れた獅子は倒れてしまいますが、巴太鼓4人による相打ちに鼓舞され、息を吹き返し

勝ち鬨を上げます。

攻め太鼓

蜘蛛の精

蚤取り

碁盤乗り

九 結願念仏

阿弥陀打ち

公演の最後は法要と同じく、結願のお念仏で締め括られます。